

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

オリジナルお薬手帳カバー配布マニュアル

目次

1.お薬手帳カバー配布事業とは.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 配布対象	2
(3) 事業概要	2
(4) 利用が想定される状況.....	3
2. 配布について.....	3
(1) 対象者への配布方法	3
(2) 居宅介護支援事業所の皆様へ.....	3
(3) 配布物	3
(4) お薬手帳カバーを使った多職種連携のイメージ図.....	4

2021年10月22日

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会

町田市いきいき生活部高齢者福祉課

1.お薬手帳カバー配布事業とは

(1) 目的

町田市内の高齢者の在宅療養を支えるため、お薬手帳を活用した在宅高齢者の多職種連携の仕組みづくりを進めるべく、町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトオリジナル（以下、「町プロ」という）のお薬手帳カバーを作成し配布を行う。

(2) 配布対象

以下の要件をすべて満たす者

(1)町田市在住

(2)概ね65歳以上の在宅高齢者

(3)複数の医療機関を受診している方

※ただし、高齢者支援センター職員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー等の専門職が必要と認めた場合はこの限りではない。

※「在宅高齢者」の定義

以下に該当している場合以外の者

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所している者
- ・介護老人保健施設に入所している者
- ・介護療養型医療施設に入所している者、もしくは介護医療院に入所している者
- ・入院をしている者

ただし在宅生活に復帰することが決定している者は、上記の場合でも配布可能。

(3) 事業概要

在宅高齢者を支える多職種連携のツールのひとつとして町プロオリジナルお薬手帳カバーを作成いたしました。

お薬手帳は在宅高齢者が同じ時期に複数の医療機関で診察を受けている場合、同じような働きの薬が重複して出されることがありますが、お薬手帳を医師や薬剤師に見せることで重複服薬を防ぐことが可能です。

医療機関を受診されたとき（または入院時）や旅先、そして災害時などに在宅高齢者自身が飲んでいるお薬の内容を提示することにより、自身の健康状態を把握してもらうことが可能となるなどとても大切な情報になります。

また、在宅高齢者と医療機関、薬局、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問リハビリテーション等の専門職間の「連絡帳」となります。在宅高齢者を支える上で、日常の気づいたことなどをお薬手帳に記載することで多職種間の情報共有を行うことができます。町プロマークがついたお薬手帳カバーをお持ちの患者様・利用者様がいらっしゃいましたら積極的に書き込みを行う等、情報共有にお役立てください。

町プロオリジナルお薬手帳カバーには高齢者あんしんキーホルダーの情報や、ケアマネ

ジャーなどの名刺を入れるポケットが付いており、在宅高齢者の緊急連絡先等の確認にも役立ちます。

(4) 利用が想定される状況

- 在宅高齢者について多職種間で情報共有を行う場合
- 在宅高齢者について緊急連絡先を確認する場合
- 担当のケアマネジャーを把握する場合

など

2. 配布について

(1) 対象者への配布方法

介護保険未申請者、要支援認定者：

高齢者支援センター及び医療と介護の連携支援センターを通じて配布を行います。また、希望に応じて医療機関や調剤薬局でも配布を行います。

要介護認定者：

居宅介護支援事業所のケアマネジャーを通じて、利用者へ配布を行います。

(2) 居宅介護支援事業所の皆様へ

高齢者支援センター及び医療と介護の連携支援センターには事業開始の際、1センター1000冊ずつ配布いたします。

居宅介護支援事業所の方は、お近くの高齢者支援センターまたは医療と介護の連携支援センターへ必要冊数を受け取りに行くようお願いいたします。

また、配布を希望する医療機関並びに調剤薬局へは事務局から希望冊数を配布いたします。

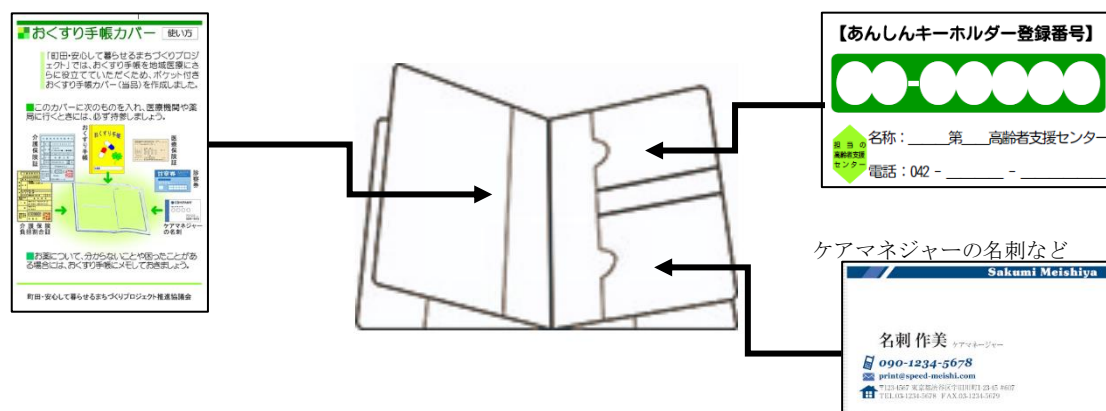
(3) 配布物

お薬手帳カバーを配布する際は、カバーに「お薬手帳カバー使い方」、「あんしんキーホルダー番号登録記載用紙」、担当の「ケアマネジャーもしくは高齢者支援センターの名刺」を入れて配布をお願いします。

配布物：

- 町プロオリジナルお薬手帳カバー
- お薬手帳カバーの使い方
- あんしんキーホルダー登録番号記載用紙

配布物の入れ方



※対象者があんしんキーホルダーをお持ちの場合、キーホルダーの番号をご記載下さい。

(4) お薬手帳カバーを使った多職種連携のイメージ図

